SEMBA Salon デザイントーク＆交流の場

vol. 150

「名刺」と「記憶」

自己紹介とともに手渡す一枚の名刺。何気なく渡して終わることもあれば、その一枚が心に残る出会いにつながることもあります。その違いは、どこから生まれるのでしょうか？
今回の SEMBA サロンでは、ブランディングを軸に、名刺をはじめ幅広い分野のデザインを手掛ける株式会社桶屋の桶屋智秋さんをお迎えし、「名刺」と「記憶」をテーマにお話し頂きます。連絡先を伝えるだけにとどまらない、名刺の可能性を感じてみませんか？



名刺に全てを書き尽くしても、恐らく人はそれを覚えてはいない。記憶とは、与えられた情報ではなく、自分で引っかかったものだけに爪痕を残す。 だからこそ名刺に「罠」を仕掛ける。思わずツッコミたくなる、ひとつの隙。「何これ？」と相手が問い、こちらが応え、「なるほど」と腑に落ちる。 つまり、名刺は記憶されるためのものではなく、記憶される出来事を生むためのもの。良いデザインとはすべてを説明し、完璧に閉じてしまうものではなく、「ツッコミ」が入る余地を敢えて残す。そのツッコミこそコミュニケーションの火種なのだ。



Speaker

桶屋 智秋（おけや ともあき）氏

株式会社桶屋 代表取締役 兼 総合演出

写真、グラフィック、空間などを通じてモノゴトの「魅せ方」を考える。「そのものらしさ」を直感的なデザインで表現し、独自の方向から新たな価値や世界観を生み出す。ビジネスではなく「商い」をするためのブランディングが得意。「商い」の背骨には祖父や父の経営を幼少期から目の当たりにし「何で儲かるのか」「何で儲からないのか」を見てきた。また、公認会計士の勉強もしていたことから財務諸表もわかる。犬が好き。



2026.12.11【金】15:00-17:00

※後半は交流会

＜参加費＞ 無料

会場：大阪デザインセンター

（大阪メトロ中央線「堺筋本町駅」東改札すぐ）

大阪市中央区船場中央1-3-2-101 船場センタービル2号館1階北通り
主催：一般財団法人 大阪デザインセンター
問い合わせ：一般財団法人 大阪デザインセンター odc@osakadc.jp

ODC osaka design center

詳細・お申込